

# 日記2003年

ホーム

野鳥を学ぶ

自然を学ぶ

リンク

フィールドノート

サイトマップ

1/1 今年の初鳥見は県内。前日まで「蕪栗沼の初日の出&ガンの飛び立ち」を見ようと思っていたが、飛び込んできた情報から急きょ「太平洋の初日の出&コスズガモ」に予定を変更。あいにく黒い雲が東の空を覆っていたが、雲の隙間から赤い太陽が顔をのぞかせてくれた。合掌・・・

さらに、気仙沼市のハクチョウ餌付け場所には情報どおり、キンクロハジロにまじってコスズガモの姿！  
幸先のいいスタートとなりました。

2/23 久しぶりにフィールドに出た。  
といっても、夕方1時間、近所を車で走っただけ。ところが・・・  
ハヤブサが小鳥を追い、オオタカがカラスにモビングされ、  
舗装路をニホンカモシカが横断するなど、次から次へと  
うれしい光景が繰り広げられるではないか。  
やはりフィールドはいいです。リフレッシュしました☆

5/4 世の中はゴールデンウィーク。しかし今年はどこにも泊まりに行くことができない。そこで・・・日帰り鳥見で我慢することにした。

第1弾は「蕪栗沼」30分で22種。

第2弾は「伊豆沼」2時間で25種。

第3弾は岩手県の「真湯温泉」1時間半で13種。ということで、3日間で47種。まあまあだろうか。

この冬は水辺にばかりいたので、第3弾のブナ林は楽しめました。こどもの日は、近所を周るつもりです。

5/11 久しぶりに地元の山を歩いた。しかし・・・華足寺の遊歩道は荒れ果てており、やぶこぎ状態。  
何とか24種を数えるも、不満の残る探鳥であった。救いは黄色い鳥(キセキレイ)。  
青や赤の鳥もきれいだが、新緑に映えるのは黄色い鳥であると思う。

6/8 観察日記ではないのだが・・・このサイト内に、「[せいめいたんじょう](#)」というページを作っています。  
生命の尊さや生命の連続性を世の子供たちに知ってもらいたいという理由と、小学校5年理科で調べ学習をするときに、教科書と併用して使えるホームページがあまりないと思ったから。  
最近、このページの運営に多くの時間を費やしている。そのためフィールドに出る時間が極端に減った。  
あくまでもいいわけですが・・・(^\_^)

6/29 休日出勤の帰りに、蕪栗沼に立ち寄ってみた。下の写真は、パノラマ合成ソフトも使わずに、手作業でつなげた写真・・・  
画像をクリックすると、少し大きく見ることができます。



7/31 買ってしまいました・・・コーワのプロミナー。ライカにしようか、スワロにしようか悩んだ末、結局またコーワを選択。  
プロミナーの最上位モデルに相応しいクリアでシャープな描写&色かぶりが無い見え味には感動！  
(でもね・・・ライカAPO-TELEVID77の見え味にはかなわないような気がします・・・)

8/1 TSN-823Mを使っていて、気づいたことがある。それは、「60倍にズームしたときに大きさが変わらない！」ということ。これには大変驚いた。上手に説明できず申し訳ないのですが・・・下にイメージ写真を載せました。



見える円の大きさは変わらず、対象物がズームされる 対象物はズームされるが、見える円の大きさが小さくなってしまふ

8/12 機材を新しくすると、使いたくてうずうずしてしまう。ましてや今回はフィールドスコープをあこがれの「フローライトレンズ」にしたもんだから、鳥を見たくてしょうがない。しかし今は8月・・・買った時期が悪かった・・・雨の合間を見て伊豆沼に行ってみたが、なかなか被写体が見当たらない。

仕方がないのでハシボソガラスを撮影してみた。思ったよりやわらかく、きれいに仕上がったので満足です☆

8/13 早起きして蕪栗沼へ行ってみた。のんびり見ていたら、電柱の上に小型のハヤブサ類。チゴハヤブサだ！！うれしくてうれしくて、すぐに家に飛んで帰り、デジスコ画像を見ながら笑顔で検証～♪

- ・ まずは大きさ。そうそう。「ハト大」だったぞ～(^^)
- ・ 次にたたんだ翼(つばさ)。あれっ！？ 尾先より短いじゃん・・・(。\_。)
- ・ さらに頭の大きさと形。おかしいなあ・・・ 頭が丸くて小さめだ。(。?)
- ・ その他・・・ 頬ひげ状パッチが太い・・・(。:) 上面が褐色じゃん・・・(。:) 胴体が太い・・・(。:)



[結論]認めたくないけどハヤブサ幼鳥で決まり・・・かなり小さかったのでチゴハヤブサだと確信してたのにい～！

涙目でフィールドノートに線を1本引きました。チゴハヤブサJuv.

その後、アカアシチョウゲンボウの可能性もあるかもしれないと図鑑を熟読したが、撃沈したのは言うまでもない・・・。

[後日談]チゴハヤブサは10日後、伊豆沼三工区でバッチリ撮影することができました☆

8/31 朝から雨・・・土砂降りの雨・・・伊豆沼は干潟が出ていないだろうし、蕪栗沼は草だらけでシギチが期待できない・・・ということで、久しぶりにホームページの新メニューを作ってみた。題して『野鳥用語辞典』。小学生にはちと難解に、学問的な定義からすればやや不十分と、中途半端な出来になってしまったが、ご勘弁いただきたい。

### 9/7 県南シギチツアー♪

1年ぶりの県南シギチツアー。ウキウキしながら4時50分起床。5時52分に自宅を出発し、三陸道に乗るために一路松島へ。蒲生に寄ろうか、鳥の海に直行しようか迷いながら走っているときに、gorgeさんから「バンディングしているんだけど・・・」のTEL。見学させてもらうことに決め、仙台東ICで降りる。

7時20分 仙台市若林区三本塚に到着

バンディングを見学させてもらう。いるわいるわ、シギチたち。何とその中にライファーのヒバリシギが・・・(^\_^)できることなら、網の中ではなく、フィールドでお会いしたかった・・・。

けっきょく、2時間もいってしまった。Rhino.さん、gorgeさん、大変お世話になりました！m(\_)\_m [9種]

9時50分 亘理町鳥の海に到着

野鳥の会宮城県支部の探鳥会は9時から。まったく間に合わなかったので、合流はあきらめて海岸へ。干潟を見渡すも、雨でけむってよく見えない。仕方がないので、車の中で雨宿りをする。

雨が上がったのでプロミナーを立てているとき、背後で人の気配が・・・探鳥会の方々である。聞き耳を立てながら(\*^^\*)プロミナーをのぞき、ライファーのホウロクシギを始め、9種を確認。

12時40分 三本塚に再チャレンジ

長靴に履き替えて休耕田をチェック。今度はヒバリシギをフィールドでGET☆ 脚環も付いていない。

帰り際に、これまたライファーのアカエリヒレアシギを撮影。あ～、シ・ア・ワ・セ♪ [7種]

14時30分 蒲生に到着

ついでに、またまたライファーのカラシラサギを撮影。ついでに、至近距離のホウロクシギも撮影しようと思ったが、ピントを合わせているうちに飛び立ってしまった。出来過ぎの一日なので笑顔で「またネ♪」と余裕のリアクション。 [1種]

16時30分 自宅にぶじ到着。今日の収穫はシギチ17種。カラシラサギをふくめると、ライファーが4種と、最高の大満足の日だった。

ちょっといっぷく フィルムスキャナ VS フラットベッドスキャナ

10/31 買ってしまいました・・・フィルムスキャナ。ヨドバシカメラに行って、ジッツオ用のカメラ止めネジセットとフジクロームベルビア100Fだけを買うつもりだったのに・・・「廉価&売れ筋第2位」に引かれてつい・・・さっそく、今までの環境と比べてみた。MINOLTA DiMAGE Scan Dual III のほうが、明らかにシャープである。また、クイック補正も自然に仕上がっている。値段が3万円台

のわりには満足かな。上を見ればきりががないが、上のランクのフィルムスキャナは 高いのである・・・。

### MINOLTA DiIMAGE Scan Dual III



200dpiで取り込み 補正なし



Adobe Photoshop Elements 2.0でクイック補正

### EPSON GT-8700F



200dpiで取り込み 補正なし



Adobe Photoshop Elements 2.0でクイック補正

11/17 イギリスから郵便が届いた。中には、雑誌と小切手が・・・  
実は、本サイトで紹介してるタヒバリの写真が、イギリスのバードウォッチング専門誌「[Birdwatch](#)」に掲載されたのである。右の小切手はその掲載料。

電子メールの中に、「We can send payment」とあったので、もしやとは思っていたが・・・ホントにもらえるとは思わなかった。

15ポンドとはいったい日本円でいくらなのか・・・ネットで調べた。  
どうやって日本円に換金すればいいのか・・・ネットで調べた。

その結果・・・額に入れて記念に飾っておくことに決定・・・(\*^~\*)



11/30 某掲示板に書き込みがあった。「国産のズーム接眼レンズは最低。単焦点ならスワロヤツァイスに引けをとらない」と・・・

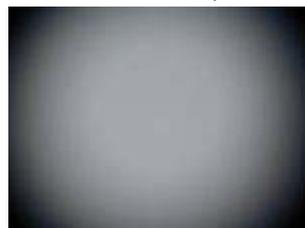
ならば自分の目で確かめようと、『TSE-14WB 32×W』を購入。『TSE-Z7B 20~60×ズーム』と比較してみた。  
いやはや・・・さすが単焦点。クリアでシャープな世界です。

こうなると次に気になるのはデジスコ時のケラレ。白い紙にライトを当て、至近距離から撮影してみた。(NIKON COOLPIX 950使用)

### TSN-823M+TSE-Z7B 20~60×ズーム (KOWA TSN DA-1+ズームアイピース用スリーブ使用)



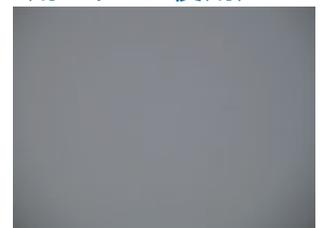
38ミリ  
完全にケラれている



約76ミリ  
周辺がケラれている



約100ミリ  
周辺がまだケラれている

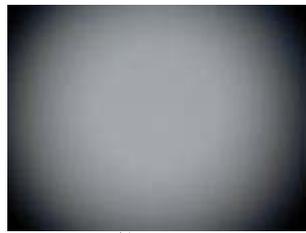


115ミリ(3倍ズーム)  
四隅が若干ケラれている

### TSN-823M+TSE-14WB 32×W (KOWA TSN DA-1使用)



38ミリ  
ケラレの範囲が狭い



約76ミリ  
周辺が同じくケラれている



約100ミリ  
四隅が若干…ケラれている



115ミリ(3倍ズーム)  
ケラレがなくなった

32×Wの見え味を写真にも生かしたい。常に『デジカメ側ズームが必須』では、その性能も生かせない。ネットでいろいろ調べると…

ズーム全域ケラレ無しアダプターリングN4300が「[KYOEI BIRD](#)」から発売されているではないか。ニコンCOOLPIX4300／885専用で、使用可能接眼レンズは TSE-14WB(32×)または TSE-9W(50×)。心が大きく動いてしまった。さらにネットでいろいろ調べると…

ニコンCOOLPIX4300とサンヨーDSC-MZ3がデジスコ用カメラとして評価が高い。MZ3は魅力的だが純正アダプタがなく、ケラレの問題が残っている。その点、COOLPIX4300+N4300は、全域ケラレなし！今回の不満点をすべて解消できる。よし決めた！買うぞ！！

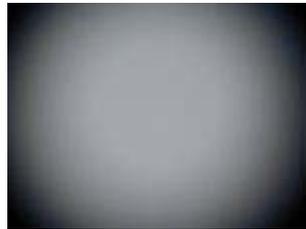
12/5 買ってしまった…COOLPIX4300(\*^^\*)。中古品で我慢し、新品との差額を「アダプタN4300」や液晶モニターフード「TID-2」に当てる。また勢いに乗って、SanDisk Ultra CompactFlash 128MB(書き込み速度:最大2.8MB/秒)も購入する。さっそく実験♪

TSN-823M+TSE-14WB

COOLPIX 950



38ミリ  
ケラレの範囲が狭い



約76ミリ  
周辺が同じくケラれている



約100ミリ  
四隅が若干…ケラれている



115ミリ(3倍ズーム)  
ケラレがなくなった

TSN-823M+TSE-14WB

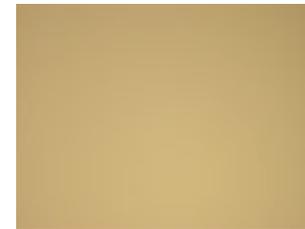
COOLPIX 4300



38ミリ  
四隅にケラレが見られる



約76ミリ  
四隅が若干…ケラれている



約100ミリ  
ケラレがなくなった



114ミリ(3倍ズーム)  
ケラレはまったくくない

ニコンCOOLPIX4300は、アダプターリングN4300と組み合わせると”ズーム全域ケラレ無し”がうたい文句。なのに、38ミリでケラレが見られるのには訳がある。

4300は950と違ってズーム時にレンズが繰り出す方式。4300のレンズがスコープの接眼レンズに接触するのを防ぐため、装着に若干のコツがあるのである。その調整に約20分。「ここだ！」と決めて接触防止用のゴムリングを瞬間接着剤で固定したのだが、1ミリ単位の調整のために失敗…ケラれてしまったのである。まっ…動作不良を起こすよりはいいのでガマンガマン…。

だって950よりはるかにマシだから！（でも個人的には950の質感が好きです。4300はおもちゃっぽいです）

12/6 SanDisk Ultra CompactFlash 128MBが届いた。さっそく比べてみたが…

体感速度に差はない…。書き込みも読み込みも…である。値段は2倍でも性能が2倍ということはないようである。劇的な変化を期待していたので残念だが、容量が4倍になったのでガマンガマン。



12/13 担任している学年の子供たちに呼びかけ、「ガンの飛び立ちを見る会」を実施。

集合時刻の6時15分には降っていた雨がやんだ。ラッキー♪

でも…こんな雲の多い日に、ガンが一齐に飛び立つはずがない…

せっかく集まってくれたのに…と思っていたら、突然！一齐に飛び立つではないか。

「はがれるように飛び立った〜」「すごい、すごい」などと大騒ぎ。

おかしいなあ…と思っていたら、漁に出かける舟に反応したようである。(ラッキー！！)

その後、伊豆沼湖沼群の自然を守る会会長のS氏に、鳥を保護するためには、

その環境まで保護しなければならない…というお話をいただき、解散。



12/28 前日に雪が降り、朝の気温が氷点下5度まで下がった。この冬一番の冷え込み。

冬らしい写真が撮れないものかと伊豆沼に車を走らせた。

ガンの飛び立ちは6時40分。朝日はまだ出ていない。約3万5千羽のガンが飛び立ち、

沼に静けさが戻った頃、ようやく太陽が顔を出した。久しぶりに見る朝日である。

今冬の伊豆沼は水位が低い。あちらこちらが干潟になっており、すぐに結氷してしまう。オジロワシが沼に降りる日も近いだろう。二工区の群れの中にはハクガンの姿があった。1か月ぶりを見るハクガン成鳥は顔が茶色く汚れており、日々の採食を連想させた。

今年の伊豆沼は何かと話題が多かった。1月にアカツクシガモ。7月にグンカンドリ。そして11月にハクガンとヘラサギ。(現在も滞在中)

蕪栗沼のほうが魅力的ではあるが、何せ職場から5分…。恵まれた環境を生かさなない手はない。

2003年ももうすぐ終わり。来年はどんな鳥たちに会えるだろうか。

初めて見た鳥(ライファー)たち  
コスズガモ チゴハヤブサ ヒバリシギ ホウロクシギ アカエリヒレアシギ カラシラサギ

[1991年](#)   [1992年](#)   [1993年](#)   [1994年](#)   [1995年](#)   [1996年](#)   [1997年](#)   [1998年](#)   [1999年](#)  
[2000年](#)   [2001年](#)   [2002年](#)   [2004年](#)   [2005年](#)   [2006年](#)   [2007年](#)   [2008年](#)   [2009年](#)

← 前へ   家   ホーム   上へ ↑   次へ →